

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの
タネまき
新聞

創刊600号記念特別号

喜びのタネまき新聞は、株式会社ダスキンが
1971年よりお客様にお配りしている新聞です。



おかげさまで
創刊600号

1971年7月1日に「喜びの夕ネまき新聞」は創刊致しました。

この新聞は、「あらう、社長さんからのラブレター
だわ!」と、心ときめかして、あなたが、読んで頂け
るような、新聞をつくりたい。あなたが、イライラす
る時、かなしい時、この新聞を手にとつて、お読み下
されば、心ほのぼの、とする、といった、新聞をつく
りたいと思います。」というダスキン創業者・鈴木清一
の言葉からスタートしました。

それから47年。私は、2011年6月の506号から表紙の言葉を書いておりますが、創刊時の想いを少しでも引き継いでいるのかと不安に感じます。お客様をはじめ、ダスキンやミスタードーナツなどで働く仲間の顔を思い浮かべながら、多くは私自身 が体験したことを書いているのですが、読んでくださる皆様が「心ほのぼのとする」内容になっているのか、と恥ずかしく思うこともあります。

ダスキンは、日頃より商品・サービスをご利用
いただいているお客様ののおかげで、今年創業55周年
を迎えます。

「喜びのタネをまこう」と語り、変えてはならない
「道」＝「人を思いやる心」と、変えなくてはならない
「経済」＝「社会への対応」の合一を願いました。私たち
はその想いを受け継いでいきたいと思います。

← 創刊600号記念 →

ほほえみのひろば特集

大切な人への
ラブレター

あらっ、社長さんからのラブレターだわ! と、心ときめかして、
あなたが、読んで頂けるような、新聞をつくりたい——。
ダスキン創業者・鈴木清一の想いから生まれ、
創刊600号を迎えた「喜びのタネまき新聞」。
今号では、読者の皆様からお寄せいただいた
大切な人への素敵な「ラブレター」の中から、
その一部をご紹介します。



素敵な洋服を
仕立ててくれた方へ

愛知県北名古屋市 井上紀美子さん

孫娘の大学の入学式に付き添っていた私の娘（孫の母親）が、駅で「素敵な洋服ね、前がどうなっているのか見せてもらえろ？」と声をかけられたそうです。

その日娘が着ていた服は、私が結婚した時に作ってもらったもの。「これを着ていれば大丈夫」と、私はここぞという時によく着ていました。娘に譲った後、娘も同じように重宝していたようです。

声をかけてくれた人に経緯を話すと「次は娘さん（私の孫）ね」と言ってくれたそう。こんなにも素敵な洋服を仕立ててくれた浅田さん、ありがとうございます。

今年で
47年目です!



1971年7月に、「喜びのタネまき新聞」の第1号が発行されました。それから47年間にわたって読者の皆様に支えていただき、このたび創刊600号を迎えることができました。

皆様は手に取っていただいているこの「喜びのタネ まき新聞」は、創業以来私たちが大切にしてきた「道」であり、「経済」が変化する中でも変えてはならない「思いやりの心」をお伝えしたいと願ひ、ダスキンのお客様係によって、お客様お一人おひとりにお届けしてまいりました。

そして創刊から47年間にわたり、多くの方々から感想やご家族のほほえましいエピソード、思い出のお写真などをお寄せいただき、皆様の支えのもと、おかげさまで600号を迎えることができました。

日頃のダスキン商品サービスのご利用と、弊紙のご愛読に改めて感謝申し上げますとともに、これからも読んでくださる皆様が「心ほのぼのとする」新聞をお届けしたいという創刊時の想いを失うことなく、1号1号大切に発行してまいります。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

單身赴任の夫へ

青森県平川市 山内 なほみさん

単身赴任で上海にいる夫と、週に1回電話をしていました。先日、夫は仕事で嫌なことがあったようですが、「そちらも色々大変だろうけど体には気を付けるんだよ」と、自分のことよりも私を気遣ってくれました。

して良かったと思う今日この頃です。

お嫁さんの
薫さんへ

埼玉県鴻巣市 小池 克子さん

子どもの頃は弟と育ち、結婚してから男の子ばかりを産んだ私ですから、長男にお嫁さんが来てくれて、初めて「娘」ができた時は本当に嬉しかったです。

お嫁さんの薫さんは、いつも
氣遣つてくれる上に、可愛い孫を
2人も産んでくれました。よく
「自分の子よりも孫の方が可愛
い」なんて言うけれど、私にとって
は息子もお嫁さんも含めて全員、
同じように可愛いよ。いつもあり
がとう。これからもよろしくね。

600号
までの
歩み

ダスキン
創業
1963年

ホームダスキン 誕生

1964年

“魔法のぞうきん”と
呼ばれました

ホームダスキン
モップ誕生

喜びのタネまき新聞
創刊

ミスタードーナツ第1号店が
大阪府箕面市にオープン

ミスタードーナツ、
 フレンチ
 クルラーを
 発売

今なお続く
 \ 人気コーナー! /
 お便りコーナー
 “ほほえみのひろば”
 が登場

1973年

1971年

1965年

1964年

1963年

大切な人への ラブレター



最愛の夫へ

長野県千曲市 石井 光子さん

もうすぐ結婚して50年が経ちます。今年75歳になる主人は、いつも溢れんばかりの愛情で私や娘夫婦、孫のことを気遣ってくれています。今は2人だけの生活ですが、あうんの呼吸で息もぴったり。私のガミガミにも耐えて、いつも笑ってシワだらけ。

心の中ではいつも「大好きだよ」と言っているのですが、伝わっているのかな。これからも毎日楽しく暮らそうね。愛しているよ。

母のお弁当

宮崎県北諸県郡 山田 博明さん

何気なく空を眺めていたら、白くて四角い雲が漂っていました。それを見ていたら、高校生の頃、母が作ってくれていた弁当を思い出したのです。

当時はただ黙って受け取って黙って返すだけでしたが、今思うと、どんなに高価な弁当よりもおいしい最高の弁当でした。改めて「ありがとう、母さん」。

No. 600

実家の両親へ

栃木県佐野市 八重樫さん

嫁いで10年が経ちました。先日、感謝の気持ちを込めて、実家の両親にプレゼントを贈りました。高価なものではありませんが、両親が大好きな焼き菓子の詰め合わせ。すると母は、「ありがとう、とっても嬉しいよ」と何度も何度も言ってくれました。

私も人の親となり、今まで両親が私に注いでくれた愛情の深さを身に染みて感じています。

母のように深く、父のように大きな愛をもって私も生きていきたいと思います。お父さん、お母さん、本当にありがとう。これからよろしく願います。

No. 600

道の駅で声を かけてくれた方へ

広島県山県郡 橋本 由美子さん

私は道の駅に野菜を卸しています。ある日、店頭で野菜を並べていると、女性から「いつもおいしいお野菜をありがとうございませう」と声をかけられました。

実は、その日は体調が悪かったのですが、その言葉でスーッと体まで軽くなった気がしました。言葉には不思議な力があるのです。これからも、もっとおいしい野菜を作らなくては！

No. 600

みゆき、 叔母ちゃんへ

岩手県岩手郡 下黒沢 雅代さん

母の妹のみゆき叔母ちゃん。母が亡くなって以来、何かと私のことを気にかけてくれました。

愚痴を聞いてくれたり、時には叱ってくれたことも。一緒に悩んで、一緒に泣いたり笑ったり。母のようでもあり、姉のようでもあり、いつも心の支えとなってくれる大切な存在です。

そんな私も、もうすぐ孫が産まれておばあちゃんになります。娘の手伝いをするために上京するので、近くに住むみゆき叔母ちゃんに久々に会いに行くのが楽しみです。みゆき叔母ちゃん、いつもありがとう。

No. 600

亡き妻へ

京都府京都市 塚本 美喜雄さん

あなたが逝ってしまったもう8年が経つけれど、私にはどうしてまだまだ最近のことのようにしか感じられないんだ。「人に尽くしても、求めないで」という最後の言葉は、今でも実行しているよ。子どもたちも立派に独立し、孫もできた。孫があなたの写真を見て「だあれ？」と聞いてき

これから
頑張ります！

喜びのタネまき新聞
600号発刊

ダスキン創業55周年

おそうじベーシック3が
登場

1冊の本に
なりました

創刊40周年記念書籍
「ほほえみのひろば」を発刊



喜びのタネまき新聞500号発刊



ミスタードーナツ、
ボン・デ・リングを
発売



喜びのタネまき新聞400号発刊

当時は
タブロイド判
でした



喜びのタネまき新聞300号発刊

紫色のモップ
フェディシリーズ発売



喜びのタネまき新聞200号発刊



発売以来の
ロングセラーです！

台所用スポンジ発売



喜びのタネまき新聞100号発刊



ミスタードーナツ、
オールド
ファッションを
発売

2018年

2014年

2012年

2011年

2003年

1995年

1991年

1988年

1982年

1979年

1975年

創刊600号記念 読者プレゼント!

感謝の気持ちを込めて、抽選で600名様に
「燈々無尽 日めくりカレンダー」をプレゼント致します。
詳しくは裏面をご覧ください、ふるってご応募ください。

プレゼントの応募は
締め切らせていただきました。
たくさんのご応募、
誠にありがとうございました。

たくさんのお便り
ありがとうございました。

これからも皆様からお送りいただいた
お話をもとに新聞を作っています。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらい
たいことなど、身近な話題をお寄せください。

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご住所、お電話番号、ご年齢、ご職業、
現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、
作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

創刊600号を迎えられましたこと、
心からお祝い申し上げます。
2年にわたって連載をさせていただき、
嬉しいことに街中で読者の方からお声を
かけていただくこともありました。感想
のお便りもたくさんお
寄せいただき、本当に嬉
しく思います。いつまで
も素敵な新聞であり続
けてください。



坂井より子さんから

私は沖縄生まれの沖縄育ち。全国各地
の皆さんからの「ほほえみのひろば」を読
んで、冬の寒さや、春の暖かさなど四季の
移り変わりを感じています。これからも
楽しみにしています!

「ほほえみのひろば」が大好き!
沖縄県沖縄市 小橋川 道代さん

594号の「ほほえみのひろば」を読ん
で驚きました。55年前にピンク色のラン
ドセルを買ってもらったというお話でし
たが、実は私も同じ頃にピンク色のラン
ドセルを買ってもらったのです。私の父
は同年の夏に亡くなってしまったため、
そのランドセルは父からの最後のプレゼ
ントとなりました。父の思いを背負って
学校に通った6年間。改め
てその時のことを思い出す
とともに、今でもずっと父
が見守ってくれている気が
しています。



あの記事に感動しました!

編集室に届いた
皆様からの
ラブレター

読者の方から編集室に寄せられた
嬉しいお便りをご紹介します!



兵庫県神戸市
中馬 弥生さん



長野県諏訪市
林 光子さん

錦帯橋の絵を見て

熊本県玉名郡 前田 沢子さん

593号の表紙を見て、とても嬉しく
なりました。

私と母は熊本県内で近所に住んでい
るのですが、姉は愛知県在住。「姉に会い
に行こう」と母を誘い、愛知と熊本の間
をとって山口県で会うことになりました。
そして、母と姉との3人で錦帯橋を
渡ったのです。89歳になる母はとても喜
んでくれました。次回の3人旅はどこに
行こうかと話しています。

仲人さんの投稿を発見!

北海道札幌市 杉本 星子さん

「喜びのタネまき新聞」に知人の投稿が
載っていました。その方は私たち夫婦の
仲人さんで、とてもバイタリティーがあり、
尊敬している方です。

「ご投稿を見ましたよ」と言いたくて
お電話をしたのですが、残念ながらお留
守でした。きっと今もお元気に飛びま
わっておられるでしょう。

主人を紹介していただいていたから30年。
いつも心の中で感謝しています。

懐かしい故郷

長野県伊那市 斉藤 仙子さん

587号に、私の故郷である山形県新
庄市の話が載っていました。「民話の会」
の方々の紹介で、私は地元で400話も
の民話が語り継がれていることを紙面で
初めて知りました。その他にも文中には、
馴染み深いお祭りのことや、郷土料理の
「芋煮の作り方」まで載って
いて、懐かしさでいっぱい。
久しぶりに故郷のことを思
い出し、温かな気持ちになり
ました。



燈々無尽

燈々無尽とは、二つの灯りを次へ次へと
つなげていくことで永遠に灯し続ける
という意味です。創業者の言葉を語り
続けたいこの想いを込めています。

本当の幸せ

創立記念日、入社記念日

あるいは失恋の日

泣いた日、なんでもよい

自分だけの記念日をもちなさい。

忘れないために

そしてまた、思い出すたびに

あの記念の日から

成長したか、退歩か

それをふりかえるのも

楽しい人生ではないか!

ダスキン創業者 鈴木 清一

みてもらおう!

読者の皆様から
お送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。



モフモフよ!

宮城県多賀城市
小林 恵美子さん

ハイターッキ!



つぶらな瞳

岡山県岡山市
藤野 緑さん

福島県田村市
佐藤 恵さん

富山県高岡市
高田 佳子さん

赤い首輪が
オシャレ

語り続けたい 31の言葉

創刊600号を迎えた感謝の気持で、
喜びのタネまき新聞オリジナル
心温まる言葉を綴った「燈々無尽」
どうぞふるってご応募ください。

応募方法

ハガキに
前・ご住
間を受け
宛先まで
にご記入
ご応募い

宛 先

〒564-1
株式会
ダスキ

応募締切

2018年

※プレゼント当選者の発表は、1
※プレゼントの抽選結果に関す
※カレンダーのデザインは変更い

喜びのタネまき新聞 創刊600号記念

燈 々 無 尽

日めくりカレンダー

抽選で
600名様
にプレゼント

プレゼントの応募は
締め切らせていただきました。
たくさんのご応募、
誠にありがとうございました。

壁に掛けても、
卓上でもOK!



No.419からのバックナンバーが
下記のアドレスからご覧になれます。
<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



株式会社 **ダスキ**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載やプレゼントの抽選及び
発送に、またアンケートのご回答は個人を特定しない形での統
計情報として、今後の紙面制作に利用させていただきます。な
お、お預かりした個人情報はダスキグループと加盟店の範囲
内で利用させていただきます。個人情報に関するお問い合わせ
や、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下
記ダスキコンタクトセンターまでご連絡ください。

■ダスキコンタクトセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp

57-7C 2018.9 DK180711